

2017年度 検索技術者検定

2級 試験問題(前半)

注意事項

1. 着席したら、受験票を机の上に置いて下さい。
2. 解答用紙の所定の欄に受験番号・氏名を必ずご記入下さい。
3. 解答時間は、13：15～14：45の90分間です。
4. 中途退席できる時間は、14：00～14：30の30分間です。
一旦退席すると、前半の試験終了まで再入場はできません。
5. 問題は11問、全17ページ、解答用紙は2ページです。確認の上、落丁・乱丁・印刷不鮮明のもの等がありましたら、手をあげて試験官にお知らせ下さい。
6. 解答は、問題文の指示にしたがい、解答用紙にご記入下さい。
(解答用紙裏面への記入は無効です。)
7. 問題の内容に関する質問は一切できません。
8. 試験問題は持ち帰って結構です。

問1 図1はMeSH Browserで「Chocolate」を表示し、図2は「Chocolate」の階層構造を表示している。

これらを参考に、文章(A)～(E)の空欄(ア)～(オ)に最も適した番号を選び、解答欄に記入しなさい。

(A) 「Chocolate」は(ア)年版のMeSHから索引用語として使われている。
(1. 1963 2. 2016 3. 2017)

(B) 「Chocolate」が索引用語になる前は、(イ)が索引用語として使われていた。
(1. Cacao 2. Cocoa Powder 3. Cocoa)

(C) 「Cocoa Powder」は「Chocolate」の(ウ)の関係である。
(1. 参照語(同義語) 2. 統制語 3. 広義語)

(D) 「Chocolate」について1990年～2000年の間に出版された文献をMEDLINEから調査したい。下記の検索方法のうち、最も**不適切**な検索方法は(エ)である。

1. 「Cacao」のMeSH索引を対象に検索
2. 「Chocolate」をタイトルや著者抄録に含む文献を検索
3. 「Chocolate」のMeSH索引を対象に検索
4. 「Cacao」のMeSH索引と「Chocolate」をタイトルまたは著者抄録に含む文献をAND検索

(E) 図2からわかることは(オ)である。

1. 「Candy」は「Chocolate」の上位語に相当すること
2. 「Chocolate」は、GカテゴリーとJカテゴリーに属していること
3. 「Chocolate」の階層構造は、MeSHのサブヘディングと呼ばれていること
4. 「Chocolate」の階層構造は、主に疾病や解剖学に関する階層を示していること

☒ 1

Chocolate MeSH Descriptor Data 2017

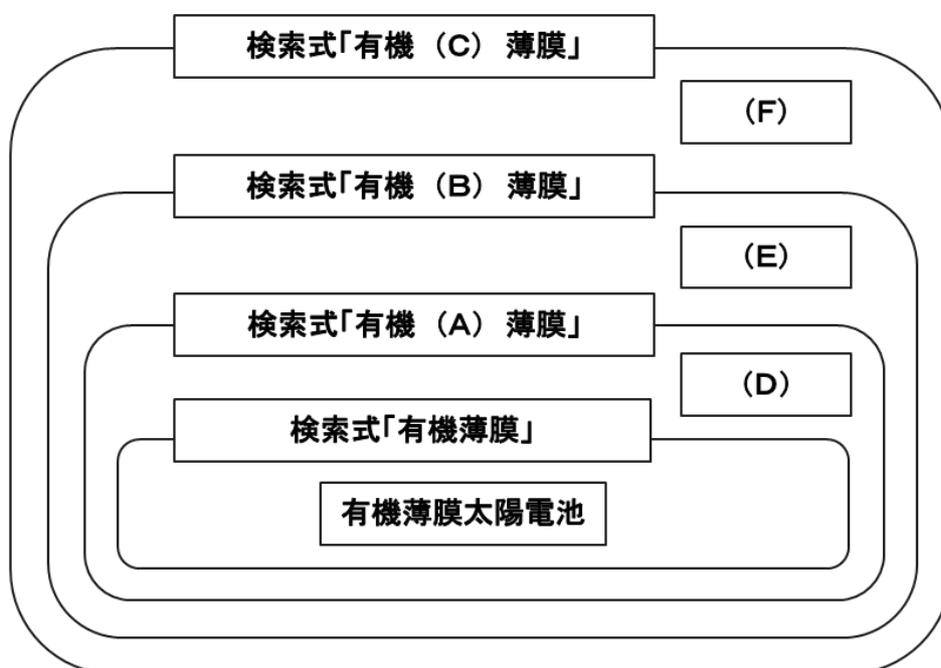
Details	Qualifiers	MeSH Tree Structures	Concepts
MeSH Heading	Chocolate		
Tree Number(s)	G07.203.300.195 J02.500.195		
Unique ID	D000069956		
Scope Note	Food product prepared from fermenting, roasting, and grinding the seeds of the COCOA plant.		
Entry Term(s)	Cocoa Powder		
Previous Indexing	Cacao (1963-2016)		
Public MeSH Note	2017; see CACAO 1963-2016		
History Note	2017; use CACAO 1963-2016		
Date Established	2017/01/01		
Date of Entry	2016/07/08		
Revision Date	2016/06/16		

☒ 2

Physiological Phenomena [G07]	Food and Beverages [J02]
Diet, Food, and Nutrition [G07.203]	Food [J02.500]
Food [G07.203.300]	Bread [J02.500.100]
Bread [G07.203.300.100]	Candy [J02.500.140] Ⓢ
Candy [G07.203.300.140] Ⓢ	Chewing Gum [J02.500.140.200]
Chewing Gum [G07.203.300.140.200]	Chocolate [J02.500.195]
Chocolate [G07.203.300.195]	Condiments [J02.500.250] Ⓢ
Condiments [G07.203.300.250] Ⓢ	Spices [J02.500.250.725]
Spices [G07.203.300.250.725]	Crops, Agricultural [J02.500.300] Ⓢ
Crops, Agricultural [G07.203.300.300] Ⓢ	Dairy Products [J02.500.350] Ⓢ
Dairy Products [G07.203.300.350] Ⓢ	Dietary Carbohydrates [J02.500.362] Ⓢ
Dietary Carbohydrates [G07.203.300.362] Ⓢ	Dietary Fats [J02.500.375] Ⓢ
Dietary Fats [G07.203.300.375] Ⓢ	Dietary Fiber [J02.500.400] Ⓢ
Dietary Fiber [G07.203.300.400] Ⓢ	Dietary Proteins [J02.500.428] Ⓢ
Dietary Proteins [G07.203.300.428] Ⓢ	Dietary Supplements [J02.500.456] Ⓢ
Dietary Supplements [G07.203.300.456] Ⓢ	Eggs [J02.500.470] Ⓢ
Eggs [G07.203.300.470] Ⓢ	Fast Foods [J02.500.477]
Fast Foods [G07.203.300.477]	Flour [J02.500.484]
Flour [G07.203.300.484]	Food Additives [J02.500.512] Ⓢ
Food Additives [G07.203.300.512] Ⓢ	Food, Fortified [J02.500.515]
Food, Fortified [G07.203.300.515]	Food, Genetically Modified [J02.500.518]
Food, Genetically Modified [G07.203.300.518]	Food, Organic [J02.500.519]
Food, Organic [G07.203.300.519]	Food, Preserved [J02.500.521] Ⓢ
Food, Preserved [G07.203.300.521] Ⓢ	Foods, Specialized [J02.500.525] Ⓢ
Foods, Specialized [G07.203.300.525] Ⓢ	Fruit [J02.500.562]
Fruit [G07.203.300.562]	Functional Food [J02.500.572]
Functional Food [G07.203.300.572]	Honey [J02.500.581]
Honey [G07.203.300.581]	Meals [J02.500.590] Ⓢ
Meals [G07.203.300.590] Ⓢ	Meat [J02.500.600] Ⓢ
Meat [G07.203.300.600] Ⓢ	Micronutrients [J02.500.631] Ⓢ
Micronutrients [G07.203.300.631] Ⓢ	Molasses [J02.500.662]
Molasses [G07.203.300.662]	Nuts [J02.500.700]
Nuts [G07.203.300.700]	Raw Foods [J02.500.737]
Raw Foods [G07.203.300.737]	Seeds [J02.500.775] Ⓢ
Seeds [G07.203.300.775] Ⓢ	Vegetables [J02.500.850] Ⓢ
Vegetables [G07.203.300.850] Ⓢ	

問2 以下は近接演算検索に関する記述と関連するベン図である。検索システムとして JDreamIII を用い、有機薄膜太陽電池について、キーワードを用いた検索を想定する。空欄 (A) ~ (H) にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。なお、(A)、(B)、(C) には演算子が、(D)、(E)、(F) には「有機薄膜太陽電池」など検索でヒットする単語が入るものとする。

「有機薄膜」検索では、文中に「有機薄膜太陽電池」がある文献がヒットするが、文中に「(D)」しかない文献はヒットしない。この「(D)」をヒットさせるには、語が順番に並びかつ1文字以内に語が存在する (A) 演算子を用いるとヒットする。さらに、「(E)」をヒットさせたいときには、語順が入れ替わってもよく1文字以内にキーワードが存在する (B) 演算子を用いるとよい。(C) 演算子を用いると (F) もヒットさせることができるが、一方で (A) 演算子や (B) 演算子を用いた時よりも、(G) が高くなるが (H) が低くなることが多い。



<解答群>

- | | | |
|--------------|---------------|-------------------|
| 1. (1A) | 2. (1B) | 3. (1C) |
| 4. (1W) | 5. (1X) | 6. (1Y) |
| 7. AND | 8. NOT | 9. 実現率 |
| 10. 相当率 | 11. 再現率 | 12. 適合率 |
| 13. 薄膜有機太陽電池 | 14. 有機型薄膜太陽電池 | 15. 有機導電膜利用薄膜太陽電池 |
| 16. 薄い有機太陽電池 | | |

問3 以下は各種データベースに関する記述である。空欄(A)～(L)にあてはまる最も適切なデータベース名を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

分野	解説および特徴	データベース
科学技術文献全般	<ul style="list-style-type: none"> ・ 米国 NASA の情報システムの研究開発において 1960 年代後半に誕生したオンライン情報検索システムを由来とする。 ・ 2013 年からサービス提供元が変わりシステムが全面更新された。 ・ 知財、科学技術、医薬・ライフサイエンス、ニュース・企業情報等、情報源は多岐にわたる。 	(A)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 科学技術振興機構 (JST) が提供する学術情報検索ツールで、文献、研究者情報、公開特許情報および機関情報等が含まれており、横断的な検索ができる。 ・ 文献著者と特許発明者の名寄せ処理を行って著者 ID を付与している。 	(B)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 1980 年に米国化学会の情報部門により開始された化学構造検索サービスを由来とする。 ・ 1984 年に FIZ Karlsruhe と協同でオンライン情報サービス提供を開始し、化学以外の科学技術データベースにも提供範囲を広げた。 ・ キーワード検索だけでなく数値や化学構造からも調査を行うことができる。 	(C)
ビジネス情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ 日本全国の主要新聞 100 紙と雑誌約 150 誌の記事について、掲載されたイメージのまま 2,500 万件をデータベース化している。 ・ 毎朝必要な情報を配信するクリッピングサービスも提供している。 	(D)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 帝国データバンクによりインターネット上で提供されるビジネス情報サービス。 ・ 企業信用調査報告書や企業概要・決算書情報、倒産情報、景気動向、業界レポート等が得られる。 	(E)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ ダウ・ジョーンズが提供するビジネス情報のデータベース。 ・ 200 か国、28 言語から 30,000 以上の情報ソースを収録しており、世界各国の新聞、業界紙、雑誌などのニュースから企業情報、マーケット情報等の様々なビジネス情報を検索することができる。 	(F)
特許情報	<ul style="list-style-type: none"> ・ DWPI を中核とし、これに主要 20 か国以上の特許全文を加えたデータベース。 ・ 検索結果の可視化ツール、分析ツール、機械翻訳ツールも付属している。 	(G)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 工業所有権情報・研修館が提供する特許、実用新案、意匠、商標などの産業財産権に関する基本的な情報を提供するサービスである。 ・ 中韓文献翻訳・検索ツールも利用することができる。 	(H)
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 欧州特許庁が無料で提供しているサービスで、米国、欧州、WIPO、日本を含めほぼ全世界の特許情報を収録している。 ・ 優先権主張番号に基づく対応特許検索もできる。 	(I)

医学・薬学・ ライフサイエ ンス	・米国国立医学図書館が作成し、インターネット上で無料公開されている世界的な医学文献データベース。	(J)
	・医学薬学関連を対象とし、国内で発行される医学、歯学、薬学、および関連領域の定期刊行物、約 6,000 誌から採択されている文献情報を収録している。	(K)
	・ライフサイエンス分野の代表的文献データベース。 ・情報源としては約 5,200 の雑誌からの論文の他、総説、会議資料、米国特許などが挙げられる。	(L)

<解答群>

- | | | |
|-----------------|-----------------------|-----------------|
| 1. Lexis Nexis | 2. J-GLOBAL | 3. COSMOSNET |
| 4. IMSRESEARCH | 5. Factiva | 6. 医中誌データベース |
| 7. ELNET | 8. Derwent Innovation | 9. Orbit.com |
| 10. SciSearch | 11. STN International | 12. J-PlatPat |
| 13. INSPEC | 14. tsr-van2 | 15. SciFinder |
| 16. PubMed | 17. ProQuest Dialog | 18. 日経テレコン |
| 19. J-STAGE | 20. EBSCOhost | 21. Espacenet |
| 22. PATENTSCOPE | 23. BIOSIS Previews | 24. iyakuSearch |

問4 以下の(A)～(L)のレファレンス・クエスチョンに対して調査・回答を行う場合に、()内の3つのデータベースまたはサービス(商用または無料で公開)のうち、最も**不適切**であるものを1つ選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

- (A) 「日本語で書かれたイスラム世界の食生活についての博士論文を探したいのです。」
(1. CiNii Dissertations 2. Dissertation Abstracts International 3. NDL-OPAC)
- (B) 「星川啓慈先生の『ウィトゲンシュタインと宗教哲学』を引用している文献、それも日本語で書かれた論文を探しています。」
(1. CiNii Articles 2. Google Scholar 3. magazineplus)
- (C) 「Japanese Journal of Mathematics のインパクトファクターを調べたいのですが、どうすればよいですか。」
(1. Journal Citation Reports 2. Web of Science 3. Scopus)
- (D) 「児童虐待についての心理学の文献を探しています。欧米の文献が必要なのですが。」
(1. Ingenta Connect 2. PsycINFO 3. RefWorks)
- (E) 「一度にたくさんの検索エンジンで検索してみたいのですが。」
(1. Ceek.jp 2. Ritlweb 3. Fresheye)
- (F) 「ピコ太郎のPPAP がヒットした理由を分析している文献や記事を探しています。なるべく早く入手できるものを希望しています。」
(1. Fujisan.co.jp 2. JRECIN 3. Web OYA-bunko)
- (G) 「忠犬ハチ公の最後の写真があるそうですが、どのように探したらよいですか？」
(1. excite 2. Yellow Web 3. 毎索)
- (H) 「千葉大学文学部所属の日本文学研究者が執筆した紀要論文を網羅的に探したいのですが。」
(1. TOUR 2. 国文学論文目録データベース 3. CURATOR)
- (I) 「医学分野の論文(英語)を書いた。投稿料や掲載料を支払ってもいいから、出来るだけ早く掲載されるようにしたい。よい方法はないか。」
(1. arXiv.org 2. PLOS ONE 3. Scientific Reports)
- (J) 「うちの短大も、そろそろ学内の先生方の著作論文などを Web サイトに公開したいのだが、よい仕組みはないだろうか？」
(1. 機関リポジトリ 2. JAIRO Cloud 3. KOARA)
- (K) 「2012年に、石巻市の仮設住宅に住む女性たちが編み物の展示会を開いたという河北新報の記事を探しているのですが。」
(1. NDL 東日本大震災アーカイブ 2. Winet 3. 47NEWS)
- (L) 「東京都民です。住んでいる区の図書館に必要な本がないため、隣接区の図書館にあるかどうか一度に探したいのですが。」
(1. CiNii Books 2. 東京都立図書館統合検索 3. カーリル)

問5 以下は知的財産権に関する記述である。(A)～(L)にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

知的財産権には、登録を要件とする権利と登録を要件としない権利がある。登録を必要とする知的財産権には、産業財産権(2002年までは工業所有権)に含まれる4つの権利がある。前記4つの権利以外の登録を必要とする権利としては、(A)等が挙げられる。登録を要件としないものとしては、不正競争防止法で保護される(B)がある。

一方、図書館における複写サービス(著作権法第31条)については、原則、著作物の「(C)」のみの複製が認められているが、雑誌などの(D)については、発行後(E)経過後、個々の著作物の「(F)」の複製が認められている。これは、雑誌などは発行後(E)を経過すると、(G)での入手が困難となることから、(H)にとって複製の必要性が高まる一方、(I)の(G)に与える影響が小さくなるために認められたものと考えられる。多くの場合は(J)が発売されれば(K)が入手困難になるため、発行後(E)とは、通常、(K)が発行されてから(J)が発売されるまでの期間とされている。

なお、著作権法第35条1項では、「学校教育において必要な範囲において著作物を複製できる」としているが、「小学校用の国語ドリルを1冊購入し、コピーしてクラス全員で利用する」ことは、問題が(L)。

<解答群>

- | | | |
|------------|--------------|-------------|
| 1. ある | 2. ない | 3. 意匠権 |
| 4. 一定期間 | 5. 一部分 | 6. 営業秘密 |
| 7. 回路配置利用権 | 8. 学協会 | 9. 権利者 |
| 10. 総目次 | 11. 市場 | 12. 次号 |
| 13. 実用新案権 | 14. 出版者 | 15. 国立国会図書館 |
| 16. 商標権 | 17. 図書以外の著作物 | 18. 前号 |
| 19. 全部 | 20. 創刊号 | 21. 相当期間 |
| 22. 定期刊行物 | 23. 特許権 | 24. 独占権 |
| 25. 半分 | 26. 利用者 | |

問6 以下は問題解決の手順に関する記述である。空欄(A)～(J)にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

問題解決を目的として情報検索を行う場合に、問題解決の基本的なステップを理解することで、解決すべき問題についての認識が深まり、効率的な情報検索が可能になる。特に、依頼調査の場合はそのステップに対応した依頼かを考えることでより適切なインタビューが可能になる。以下のような5段階のステップがある。

①問題認識

依頼調査の場合は、インタビューで依頼者の(A)を確認し、依頼者が説明する問題認識がどのような(B)で得られたかを知る必要がある。また、調査対象となる問題が単一ではない場合は、「重要性」「(C)」「(D)」の3点で比較することにより、優先順位をつける必要がある。依頼調査の場合は、「(C)」などは調査の納期に関係してくるので、優先度を上げることも検討する。「重要性」「(D)」に関しても調査資料の選択などに関係してくるので、よく確認する必要がある。

②目標設定

目標を決めるためには、次の4点を明確にする必要がある。

(E)：実数や比率など達成度を評価する方法を考える。

(F)：(F)を決めて、目標までのギャップを予測する。

目標値：問題が解決されたと認識できる目標の値を決める。

(G)：いつまでに問題が解決される必要があるかを決める

③原因分析

問題発生の現状と理想目標レベルの差の理由を調べるのが原因分析である。その方法には思いついた原因を箇条書きで記述していく方法など様々あるが、原因を体系的にとらえる方法としては「(H)」が有名である。複数の原因をリストアップできたら、個々の原因の問題解決への影響度を判断し、対策とその優先度を考える。依頼調査の場合は、問題の原因分析に必要な情報の調査である場合もあり、同様な事例を検索して原因分析の参考にすることができる。

④対策立案・実施

最も効果的な対策を作る必要があるが、(I)な思想で複数の対策を考え、それらをよく比較することが重要である。具体的な対策ができた時点で調査を行う。実行するための根拠となる情報を調査することもある。

⑤対策評価

対策を実施することで実際に問題が解決できたかを評価するまでが問題解決のプロセスである。問題解決の当事者であれば、解決されたかどうかを判断することはできるが、依頼調査の場合は、調査結果で実際に問題が解決されたかどうかわからない。解決できていない場合に(J)があれば対応できるので、可能な限り結果を評価した時点で確認する。

<解答群>

- | | | |
|------------|-------------|-------------|
| 1. 緊急性 | 2. 達成期限 | 3. 収束的 |
| 4. 業績指標 | 5. 立場 | 6. 実測値 |
| 7. 発散的 | 8. ロジックツリー | 9. 論理 |
| 10. 思考 | 11. 現状値 | 12. 有効期限 |
| 13. 予測値 | 14. 拡大性 | 15. 関連性 |
| 16. 観点 | 17. チェックリスト | 18. 評価指標 |
| 19. 類似性 | 20. 理論値 | 21. フィードバック |
| 22. マトリックス | | |

問7 以下はウェブにおける情報発信と情報共有についての記述である。(A)～(J)にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

ウェブの最初の利用は、ホームページと呼ばれるウェブページである。これが個人による情報発信の始まりである。ウェブページは(A)で、一方的な発信ツールであるが、これが日記形式の(B)となり、(C)な発信が可能となると同時に、コメントやトラックバックによって読者の反応を書き込むことが可能となり、双方向となった。次に匿名で「つぶやき」「フォロー」を行う(D)、実名登録という制限はあるものの、「ページ」機能や「イベント」機能など多彩なサービスを展開する(E)が出現し、多数対多数のインタラクティブなコミュニケーションが可能となった。日本で発達した(F)はトーク、グループ、スタンプといった機能を持っていることから主に若年層に普及し、社会現象となっている。さらに、写真投稿をメインとする(G)も日本では広く使われており、単なる個人だけではなく、法人・社会団体の情報発信の場として機能している。こうした仕組みを略語で(H)と呼ぶ。(H)は現在、Google社の動画投稿サイト(I)、(D)と連携してリアルタイムで動画中継を行う(J)などを取り込み、速報的な情報源として、娯楽だけではなく、ビジネス・災害救助といった場面でも利用されている。

<解答群>

- | | | |
|--------------|-------------|-------------|
| 1. AbemaTV | 2. Facebook | 3. GREE |
| 4. Instagram | 5. LINE | 6. LinkedIn |
| 7. mixi | 8. pixiv | 9. SMS |
| 10. SNS | 11. Twitter | 12. YouTube |
| 13. アーカイブ | 14. ツイキャス | 15. ニコニコ動画 |
| 16. ブログ | 17. 一時的 | 18. 永久的 |
| 19. 公式 | 20. 静的 | 21. 動的 |

問8 以下はコンピュータ、インターネット、情報管理に関する記述である。空欄（A）～（F）にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

（A）コンピュータにおいて画像処理全般を担う部品。内蔵型と独立型があり、内蔵型は近年、中央集中演算装置との統合が進んでいる。独立型のもは、内蔵型に比べて高性能な回路を多数搭載できるため、画像処理だけでなく、高度で膨大な数値演算が要求される科学分野のシミュレーションや、機械学習におけるディープラーニングの演算処理でも活用されている。

（B）主に国や自治体などの公共機関が保有するデータのうち、CSV や XML、RDF といった機械判読に適したデータ形式であり、二次利用が可能なルールの下で公開されたデータのこと。種々のデータやサービスとの連携により、官民協働の公共サービスの提供や新たな民間サービスの開拓などが期待されている。

（C）マサチューセッツ工科大学で開発された、教育用のプログラミング言語環境のこと。マウス操作で直感的にプログラミングができるため、子供のプログラミング教育に使われている。

（D）IC チップと小型の無線アンテナを組み合わせたカードやタグから、電波を通じ非接触で情報のやりとりを行うことの可能な技術。IC カード付きの運転免許証や、一部の電子マネー、交通系 IC カードなど一般向けでの利用や、物流や家畜などの管理や識別など、様々な分野で広く活用されている。

（E）本人の求めに応じて、個人情報取扱業者が個人データの第三者への提供を容易に停止するために、個人情報保護法改正により厳格化された手続き。

（F）ウェブ上のコンテンツを、ある特定のテーマで読みやすくまとめて共有・公開するサービスの総称。写真などの著作権を侵害するような利用や、まとめられた文章の内容が不適切であるなどにより、多数のサービス停止や、記事の削除が行われ話題になった。

<解答群>

- | | | | |
|--------------|-----------------|-----------------|---------------|
| 1. スモールデータ | 2. オプトイン | 3. LTE | 4. BASIC |
| 5. CPU | 6. オプトアウト | 7. Raspberry Pi | 8. パーソナルデータ |
| 9. USB3.1 | 10. HTML | 11. GPU | 12. Wikipedia |
| 13. フェイクニュース | 14. マインクラフト | 15. オープンデータ | 16. Scratch |
| 17. RFID | 18. キュレーションメディア | 19. HDMI | 20. SSD |

問9 以下は情報システムに対する脅威および圧縮方式に関する記述である。(A)～(E)にあてはまる最も適切な語句を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

(A) 犯罪捜査など、PCや電子機器に残る記録を収集・分析し、法的証拠を明らかにする技術。

(B) 一回ごとの使い捨てパスワード。

(C) セキュリティホールが公表される前にその欠陥部分を狙う行為。

(D) 指紋、瞳孔、静脈の形状によって個人認証する技術。

(E) 動画に適した圧縮方式。非可逆圧縮方式である。

<解答群>

- | | | |
|----------------|----------------|-------------|
| 1. DoS 攻撃 | 2. JPEG | 3. MPEG |
| 4. ゼロデイ攻撃 | 5. デジタルフォレンジック | 6. バイオメトリクス |
| 7. バイオメトリクス | 8. フィッシング | 9. ランサムウェア |
| 10. ワンタイムパスワード | 11. 認証パスワード | |

問10 以下はTinEyeのFAQである。下線部(A)～(E)のTinEyeについての解説文の空欄(ア)～(オ)に当てはまるものを解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

About TinEye

What is TinEye?

TinEye is a reverse image search engine. You can submit an image to TinEye to find out where it came from, how it is being used, if modified versions of the image exist, or to find higher resolution versions. (A) TinEye uses image recognition technology rather than keywords, metadata or watermarks. For some real TinEye search examples, check out our Cool Searches page.

For an overview of how to use TinEye, check out our brief tutorial.

How does TinEye work?

TinEye uses image recognition to search for images and find matches to your search image. It does not use image names or any data associated with your search image. (B) When you submit an image to be searched, TinEye creates a unique and compact digital signature or 'fingerprint' for it using image recognition, then compares this fingerprint to every other image in our index to find matches. TinEye uses robust and accurate image recognition and as such can find even partial image matches to your search image.

TinEye does not typically find similar images (i.e., a different image with the same subject matter); it finds exact matches including those that have been cropped, edited or resized.

What can I do with TinEye?

There are many uses for TinEye, but here are a few:

- (C) • Find out where an image came from, or get more information about it
- Research or track the appearance of an image online
- Find higher resolution versions of an image
- Locate web pages that make use of an image you have created
- Discover modified or edited versions of an image
- Debunk an image
- Help with image attribution

Is TinEye free to use?

TinEye is free for non-commercial use.

Can I use TinEye for commercial purposes or high-volume searching?

Yes, there is a paid version of TinEye for commercial use, which allows you to purchase TinEye searches. (D) The commercial version of TinEye includes a user interface for easy searching, as well as an API for integrating TinEye with your own website or system. If you have any questions, please get in touch.

Can TinEye find similar images? (E) Does TinEye do facial recognition?

TinEye finds exact and altered copies of the images that you search for, including those that have been cropped, colour adjusted, resized, heavily edited or slightly rotated. TinEye does not commonly return similar matches, and it cannot recognize the contents of any image. This means that TinEye cannot find different images with the same people or things in them. The best way to get an idea of what TinEye can recognize, check out some of our cool searches.

(A) TinEye は、 を利用していない。

(1. 画像認識技術 2. ビッグデータ 3. メタデータ)

(B) TinEye は画像認識を使用して独特でコンパクトな を作成し、インデックスの他のすべての画像と比較して一致するものを見つける。

(1. デジタル署名ないし指紋 2. 秘密鍵ないし指紋 3. デジタル署名ないし静紋)

(C) TinEye を使えば、その画像の元の場所、使用方法、画像の変更されたバージョンが存在するかどうか、高解像度のバージョンを.

(1. 見つけることができる 2. 見つけられることもある 3. 見つけられない)

(D) 有料版を使えば、商用利用や大量検索も可能である。また なども含まれている。

(1. 汎用的な Web サイトまたはシステムと統合するため API
2. 独自の Web サイトまたはシステムと統合するための API
3. 独自の Web サイトまたはシステムと統合するための API キーとシークレット)

(E) TinEye は、顔認識機能を使って、 を見つけることが出来ない。

(1. 違う人物の似た画像 2. 同じ人物の異なる画像 3. 同じ人物の同じ画像)

問11 以下は国際標準産業分類 ISIC の通信販売など無店舗小売業に該当する分類番号 4791 の説明文である。(A) ~ (E) に入る適切な用語を解答群から選択し、その番号を解答欄に記入しなさい。

This class includes retail sale activities via mail order houses or via (A), i. e. retail sale activities where the buyer makes his choice on the basis of (B), catalogues, information provided on a (C), models or any other means of advertising and places his order by mail, phone or over the (A) (usually through special means provided by a (C)). The products purchased can be either directly (D) from the (A) or physically delivered to the (E).

<解答群>

- | | | |
|-------------------|---------------|-------------|
| 1. Advertisements | 2. Magazines | 3. Company |
| 4. Customer | 5. Downloaded | 6. Internet |
| 7. Smartphones | 8. TV | 9. Uploaded |
| 10. Website | | |